

北横岳，たて科山へ

岩井 淑

9月15日(金) 晴れのち曇り

日本ピラタス横岳ロープウェイ駅へ到着したのは14時15分だった。

駅前駐車場は車で溢れ、乗車券売り場へと行ってみると、「10分間隔で運転をしておりますが、只今、15時50分の乗車分を発売しております」という掲示。

ウン?時刻を1時間、間違えているのではなからうか、と思いながら順番を待っていると団体客が多いため、個人単独の場合は15時20分乗車の券を買うことが出来た。

それにしてもすごい人出である。家族連れ、あるいは20代のギャルや若者達で一杯である。自家用車でロープウェイ駅までやってきて、すぐにロープウェイに乗り換えれば僅か9分で2240mの坪庭へ到着するという簡便さが、これだけの人出となっているのであろう。北八ヶ岳の山々の静けさを求めての今日の山行を、9月15日の「敬老の日」という祝日をスタートとしたことと、スケジュールの関係から横岳ロープウェイをスタート点に選んだ事の2点において失敗だったと思った。

横岳ロープウェイ山頂駅から「坪庭探勝コース」に沿って10分ほど歩くと左に横岳、大岳への分岐がある。坪庭は横岳が噴火した時の溶岩台地で30万坪の広さがある、とロープウェイの案内放送が流れていた。

台地には木は育っていない。僅かにコメツガ、ハイマツ、シャクナゲ、シラビソ等が岩石に這うようにしているのみである。

分岐を分けると期待していた通りの静寂さが現れた。木橋を渡るとそれまでの整備された探勝コースから外れやっとなり、登山道らしくなり、ホッとす。シラビソの樹林帯を一步一步登っていくが、ガスが急速にかかってくるため視界は50m程だ。汗がジワッとにじんできたのでウィンド・ブレーカーを脱ぎ、雨池畔からの道と合わせてまもなく宿泊予定の北岳ヒュッテに到着してしまった。ほんの35分の道程であった。ガスのなかにボーッとヒュッテらしきものが浮かんだ時、まさかこんな近くとは思わなかったので、アレ??という感じであった。ヒュッテの宿泊者は約30人で1泊2食弁当付きで6200円だった。

傑作だったのは夕食であった。夕食といっても30人の宿泊者及びヒュッテの従業員全員による大宴会である。1升瓶がでんでんと3本ならび大型鍋が同じく3つで宴会のスタートである。

長年、山に登り度々山小屋の世話になっているが、夕食そのものが宴会というのは初めてである。宿泊者同士で「山小屋の何周年記念かな?」等と話し合っていると、あにはからんや、今日は9月15日の「敬老の日」なので70才以上の方が2人宿泊されているので宴会にしたという。いきなはからいではないか。私の左側に座った人がその内の1人で71才だという。右側には元気印のおばさんで60才ぐらいだろうか。とにかく中高年はやたらと元気がいい。宴会は17時50分より始まり20時まで続き、山の話は当然の事として人生論あり、政治論あり、はたまたワインのうんちくを傾け、かつフランス語を披露する者など、誠にかまびすしい。宴会が終了するまで席を立つものもおらず、実にいい

霧囲気であった。

9月16日(土) 曇りのち晴れ

5時20分、綺麗な朝焼けである。西側の北岳方面を仰ぎ見ると山頂方向がクッキリ見える。心配していた空模様もどうやら大丈夫のようである。朝食を済ませ、15分ほど登ると山頂へ到着したが、あいにく日の出時とは異なり視界は20mあるかどうかというガスの只中であつた。

山頂から大岳を経て双子池へ下ろうとする人も、ものすごいガスのためコースを変更するしまつである。ここでも絶対に無理はいけないという登山の鉄則がいかにされているのだと思う。シラビソを中心とする針葉樹林帯の中の急坂をころげるように下り、亀甲池へと到着した。水深は50cm位だろうか。池の色は廻りの木樹の緑に映えてウグイス色に近い。それにしても静かだ。空はどんよりと曇り、水面を風が渡り、小波をたてている。6人の登山者が三々五々休憩しているの、静かな池を見ながらしばしの休憩時間を取る。

亀甲池からはクマザサの中を下って天祥寺平へ向かうが途中で背負っているザックがいやに軽いので何か忘れ物をしたのではなかろうかと思ひ点検してみると、案の定、水筒を亀甲池に置き忘れていたのである。1、5Kgの違いがザックを背負った時には大部軽く感じるのである。ザックを道脇に置き、Uターンである。

ハクサンフウロのピンクの花が柔らかかそうに咲いているのを横目で眺め、天祥寺平から少し下がるといよいよたてしな山に向けての直登が始まる。クマザサが左右から覆いかぶさる道をまるでヤブこぎである。しかし、そこを抜ければ、夏に清楚な純白の花を咲かせていたゴゼンタチバナは鮮やかな朱色の実をつけている。10個も鈴なりに実をつけているものもあり、同じく燈色にふくれあがったノイチゴは口に含むと甘酸っぱく、その味からもしのびよる秋を感じる。休憩中に真正面に望める北横岳山頂は依然ガスがかかったままである。

直登のためかなりきついのぼりであつたが、9時20分には將軍平の山荘に到着した。10分の休憩中に売場に行って八ガ岳全域の地形図と山小屋が紹介されているガイドをもらう。このガイドは昨日宿泊した北横岳ヒュッテの壁に貼ってあり、欲しいなあと思つていた地形図である。お礼を言ってから山頂めがけての再直登が始まった。山頂はガスが飛び、これならば360度のパノラマが望めるぞと期待しつつ、はやる心を抑え山頂を目指す。が、山頂ま近になると今まで見えていた北横岳から南八ガ岳方面がにわかにかすってくる。アレッ?やばいなあ!と思ひながら登り続けていると、やがて広〜い山頂に到着する。直径200~300mはあろうかと思われる広さで、岩だらけの山頂には申し訳程度に草や苔が生えているのみである。中央にはたてしな神社と高さ2m程の鉄鳥居が建てられ、石垣の上に奉られている社にはなぜか諏訪神社と刻まれた石碑が横に置かれていた。山頂の方位図は北側の諏訪湖を見おろす端に据え付けられている。山頂があまりにも広すぎるので、中央に設置したのでは廻りが見えなくなってしまうことになるからだ。

ガスは急速に上がって来ており、みるみるうちに四方八方ガスだらけで視界は20m程に低下してしまつた。下から吹き上げてくる風がとても冷たい。先に頂上に到着していた登山者達は「あと20分早ければ、文字通りの大パノラマが見えたのに」等と伝えてくれ

る。20分前といえば將軍平の山荘を山頂に向かって出発した頃である。ま、しかたない、と気を取り直し時間的には早いのだが昼食にする。北横岳ヒュッテで800円の弁当を700円にまけてもらったが、煮物も入っていてとても旨い。こういう弁当を含めて、いい山小屋だったなぁとつくづく思う。

頂上に到着する直前にタカネバラが朱色の実を付けていたので、ハマナスの実が食べられるのだからタカネバラも同じバラ科だし食べられるだろうと思い、2粒摘んで口の中に放り込んで噛みつぶしてみると甘渋い味がした。まだ熟していない実だから渋いのだろうか？

また、コケモモも5~6mm程の深紅の実を付け、口に含むとズニュという感じで甘酸っぱく、これはイケル!と思った。すると「コケモモは採ってはいかん!」などと叫んでいるオッサンがいたが、コケモモの株を取るのではなく実を採るだけだから、来年は再び実を結ぶことになるのだ。ここらへんのことを理解しないで、高山植物ならばなんでもかんでも手をかけることはいかんという思想ではなく、株そのものを痛めないように実を採るのであったならば、なんら問題とはならないであろう。以前、コケモモ酒を作ったことがあるが、真っ赤な酒が出来たことを覚えている。

昼食を含めて1時間を山頂で過ごし天候の回復を待っていたが、ガスは飛びそうにもないので下山を開始する。山頂山小屋より右にすずらん峠、たてしな登山口へと向かう。10分程は全くの岩場歩きであって、南八ヶ岳方向が微かに晴れだす状態であり、諏訪遭難対策協議会の「登山道がたいへん荒れているので滑落に充分注意」の立て看板が目にはいる。

森林限界からシラビソの原生林に入ると岩も湿っているため、滑り易いので注意しながら下山する。下山道の正面に日本第2位の高さを誇る南アルプスの主峰・北岳の美しい山容が眺められる。来年はあの北岳へ登ろうと思う。登山道の脇に咲いているアザミの花から花へと高山蝶が華麗に舞っている。信州を代表する蝶としてJRのオレンジカードの蝶シリーズNo.1になっているアサギマダラのパステルカラーやクジャクチョウの鮮やかな朱色や孔雀の尾羽にある紋様に似た白黄色の紋や薄茶色、紺色がくっきりし、文字通りのクジャクチョウ。これらの蝶がひらひらひららと花から花へと舞っているのである。

やがて下山道はシラビソからカラマツ、シラカバと変わり、クマザサの中を下ること1時間40分でビーナスラインのたてしな登山口へと出た。早速、登山口の真前にある女乃神茶屋に入りエダマメをつまみにビールで喉を潤す。喉ごしに味わうビールは抜群であった。実に旨い。今、このレポートを書きながら下山してきた方向を眺めると、たてしな山頂のガスはすっかり吹き飛び、緑の山容を現している。

八ヶ岳登山計画書 NO2

住所：船橋市東船橋 3-23-6 北パークハイツ203
 名前：岩井 淑
 年齢：40才
 性別：男 職業：NTT相模原
 電話：0474-22-5297

目的地：北横岳，たて科山
 コース：ロープウェイ駅～北横岳～亀甲池～天祥寺原～將軍平～たて科山～たて科山登山
 口～ロープウェイ入口

日程：

9, 15 歩行時間：1時間

相模原	八王子	大月	甲府	茅野	ロープウェイ山麓駅
9:18	9:32				
	9:38	10:22			
		10:41	11:28		
			11:44	13:01	
				13:35	14:25
					14:30

山頂駅	北横岳ヒュッテ
14:40	
14:50	15:50
	60
	TEL:02667-2-8007

9, 16 歩行時間：6時間

北横岳ヒュッテ	横岳	亀甲池	天祥寺原	將軍平	たて科山
7:00	7:30				
	7:40	8:20			
		8:30	8:55		
			9:05	10:25	
				10:35	11:15
					12:00

たて科登山口	ロープウェイ口	茅野駅	上諏訪	保養所
13:40				
13:50	14:20			
	14:28	15:12		
	14:48	15:32		
		15:50	15:57	16:15
	15:48	16:32		
		16:49	16:55	17:15
				TEL:02665-2-0098